

広島工業大学

「アムスラー型圧縮曲げ試験機」の概要

装置の概要

鉛直荷重载荷能力 最大 3000kN ストローク 100mm

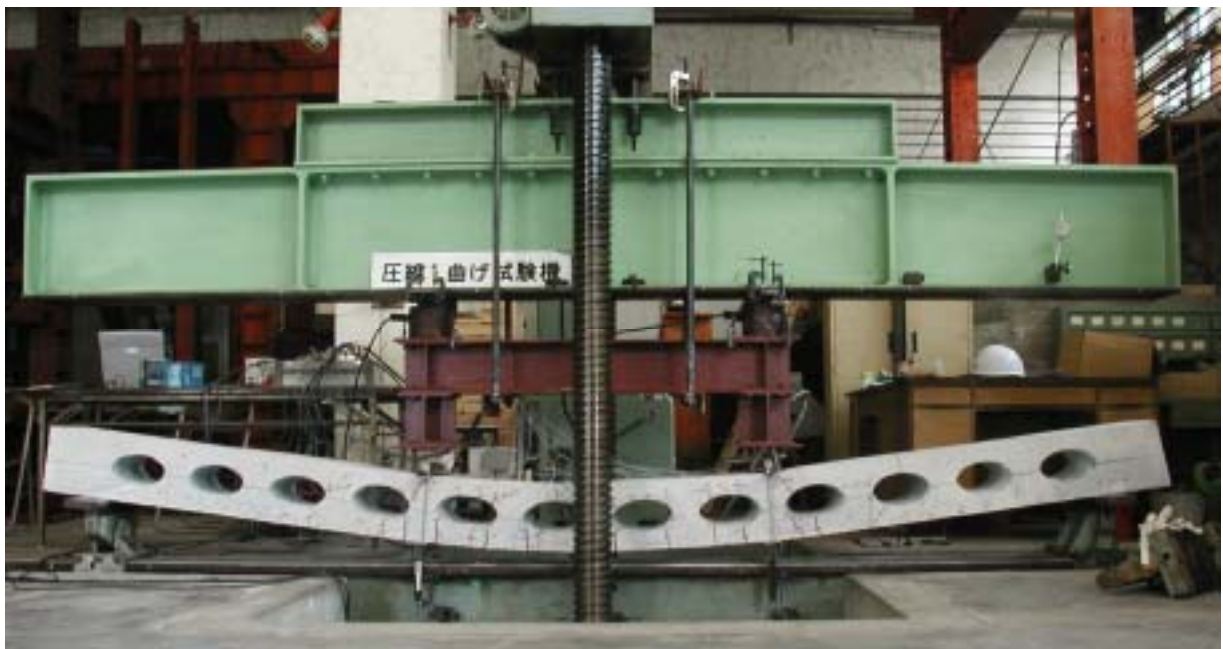
载荷は手動制御、データ収録はパソコン制御でデータ収録間隔は最小 1 秒

収録データ数は最大 8 0 点

実験可能試験体寸法 最大長さ 5000mm、最大幅 600mm

導入は昭和 4 5 年頃で、当時は広島県内最大の圧縮曲げ試験機であった。

昭和 5 5 年、曲げ能力向上のため上部の反力梁を補強した。



圧縮曲げ試験機